

524

524-630



1200501493963

昭和三

本邦産米材の生産状況
農林省

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

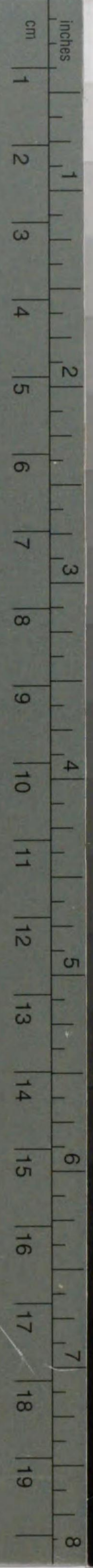
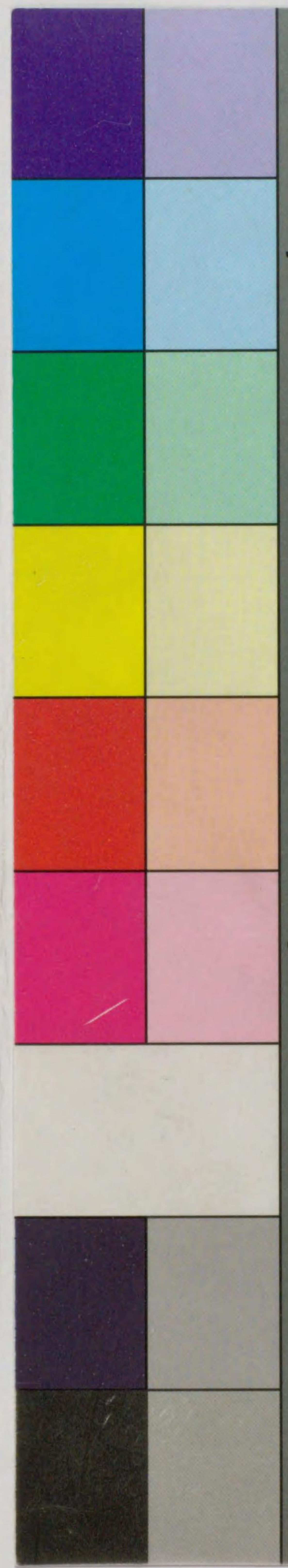
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



昭和四年三月

本邦ニ於ケル木材「パルプ」生産状況

農林省山林局

本邦ニ於ケル木材「パルプ」生産状況

目次

緒言

一頁

第一節

本邦ニ於ケル木材「パルプ」製造状況

二

第一項

木材「パルプ」製造會社工場ノ變遷

二

第二項

木材「パルプ」ノ産額

二

第三項

木材「パルプ」原料使用額

二

第二節

本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ輸出入状況

三

第一項

木材「パルプ」ノ輸入

三

第二項

木材「パルプ」ノ輸出

三

第三項

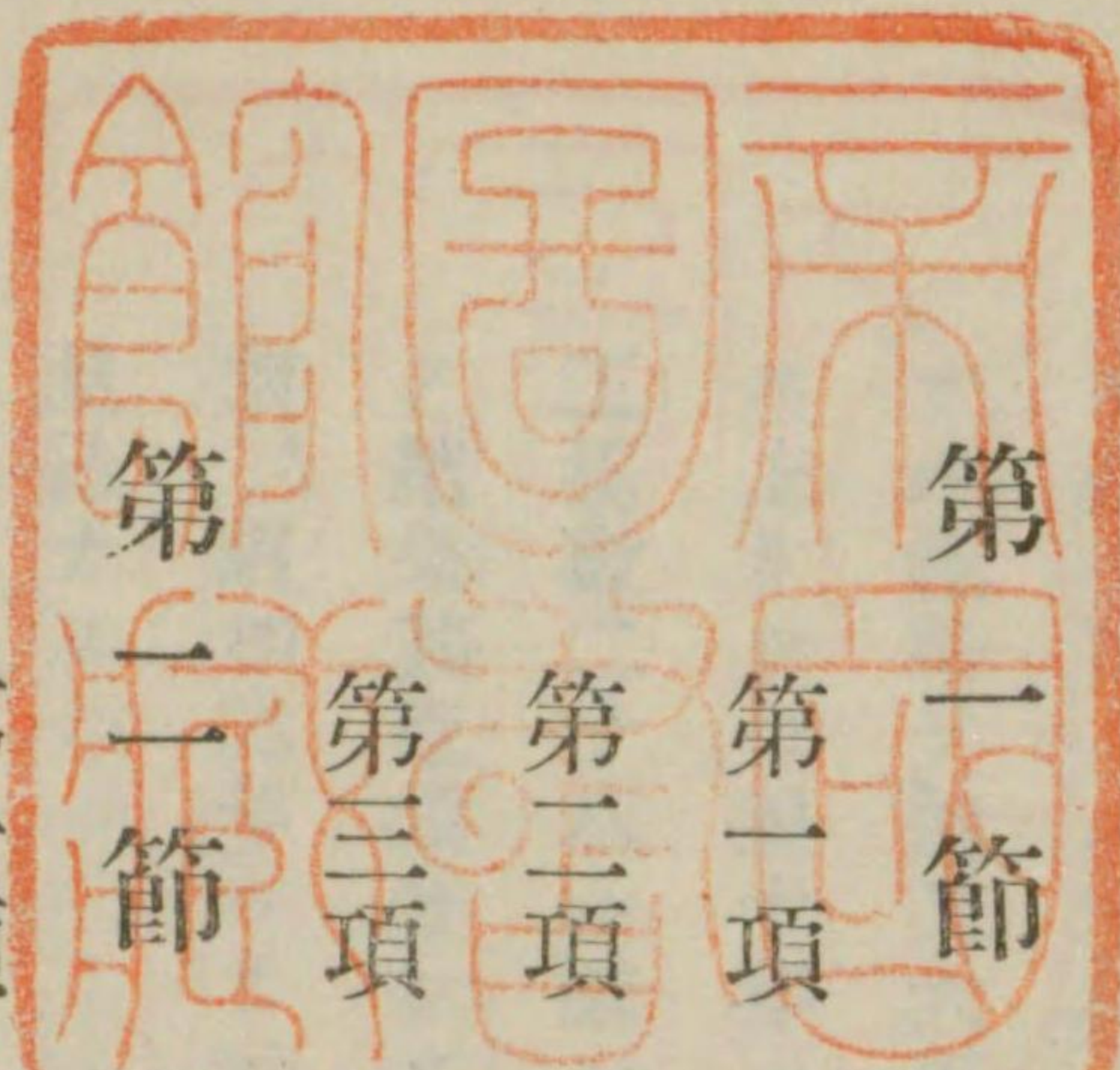
大正二年以降木材「パルプ」需給高累年比較

三

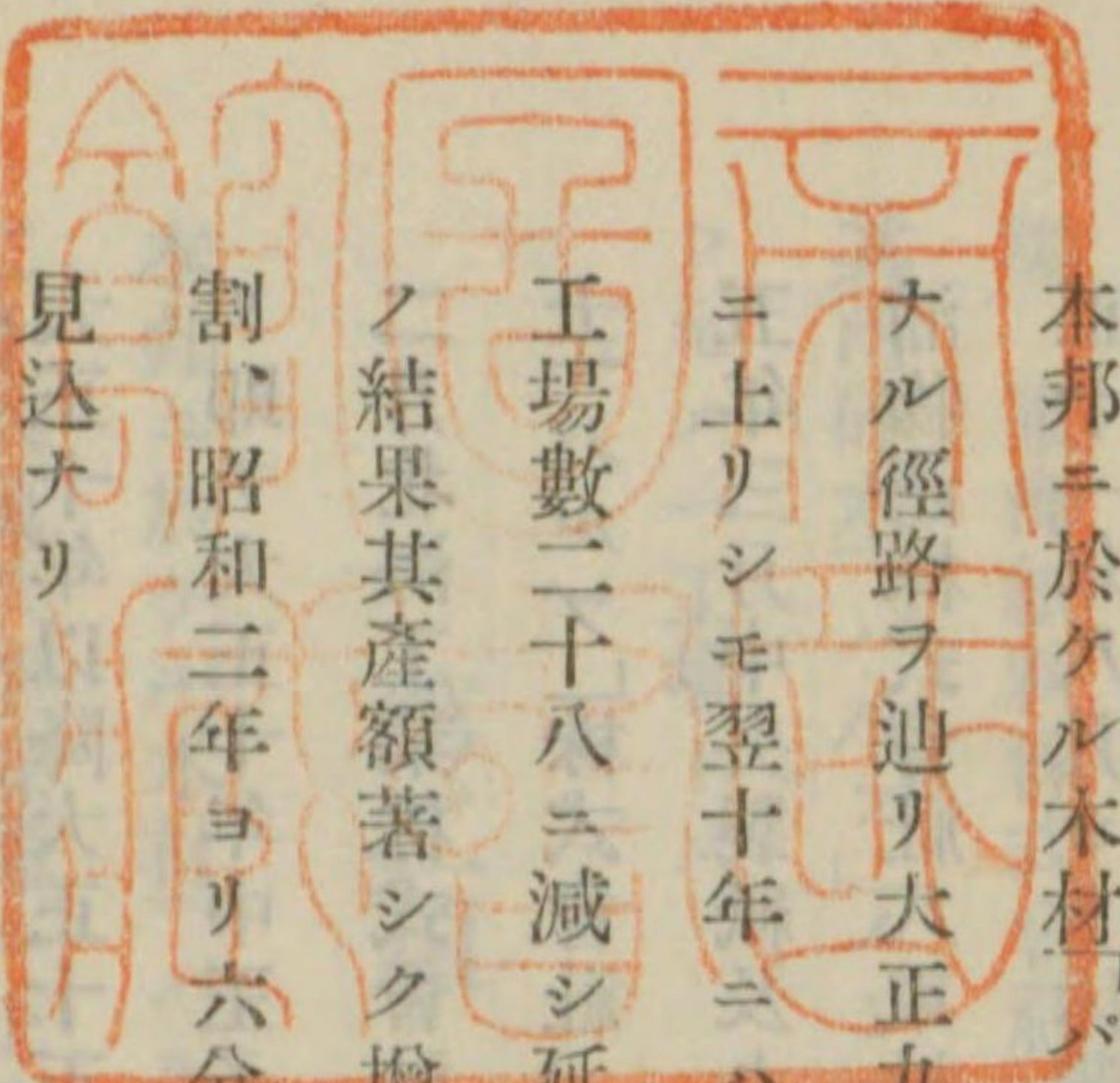
第四項

木材「パルプ」ノ市價

三



~~579-200~~
524-630



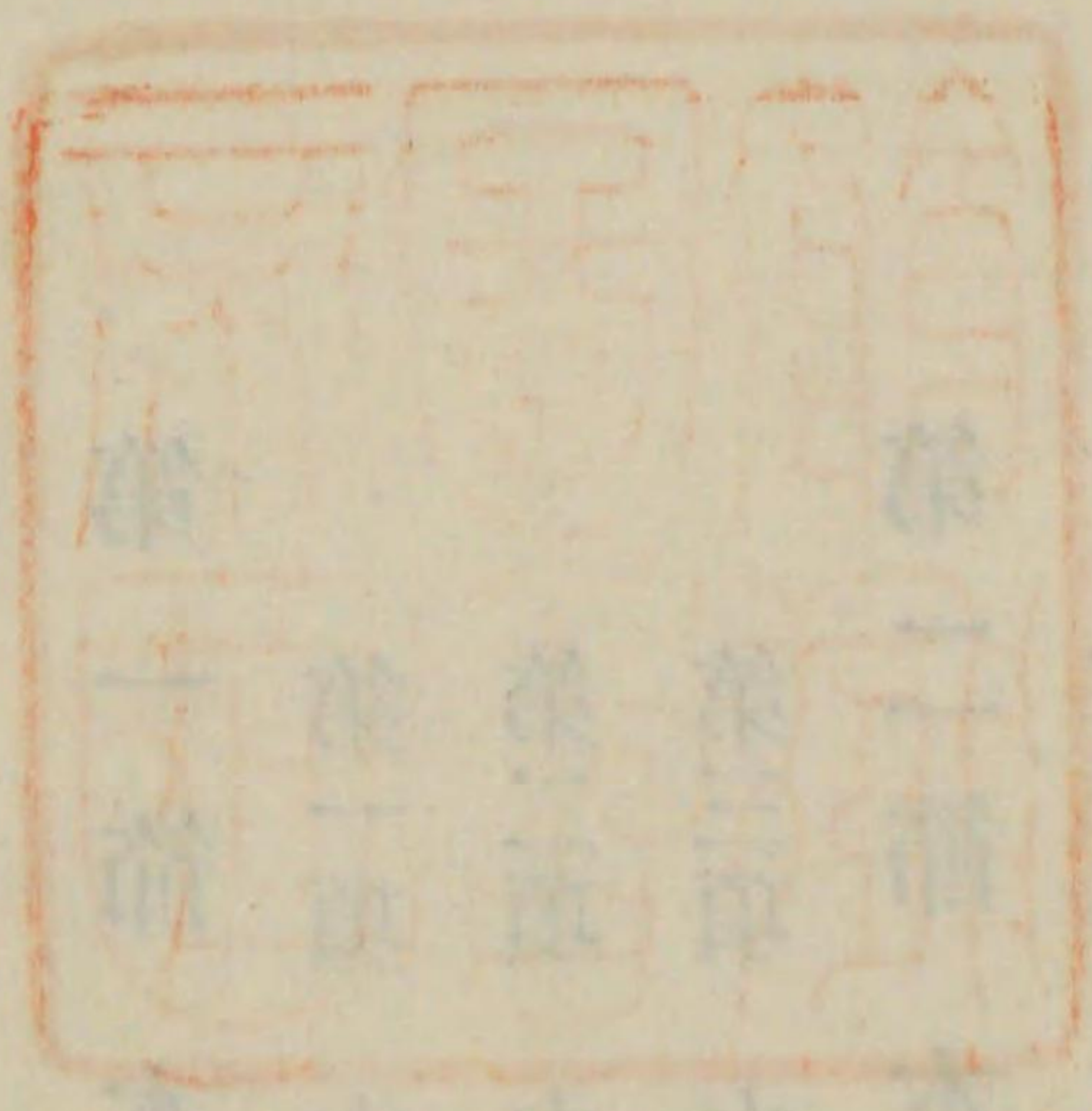
本邦ニ於ケル木材「パルプ」生産状況

（自昭和三年一月至昭和三年十二月）

緒言

本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ製造業ハ大正二年頃ヨリ漸次顯著ナル發達ヲ遂ケ大正九年迄ハ年々順調ナル徑路ヲ辿リ大正九年ニハ會社數十七、工場數三十一ヲ算シ木材「パルプ」ノ生産二十六萬八千餘噸ニ上リシモ翌十年ニハ財界ノ不況、工場ノ災厄、會社ノ併合等ノ影響ヲ受ケ同年ハ會社數十三、作業工場數二十八ニ減シ延テ其産額二十五萬噸トナリ生産稍々減少シタルモ爾來工場ノ新設既設工場擴張ノ結果其産額著シク増加シ昭和三年ニ於テハ五十六萬七千餘噸ノ多キニ達シ大正九年ニ比シ約十一割、昭和三年ヨリ六分ノ増加トナレリ尙ホ事業擴張ノ計畫アリ昭和四年ニハ約六十三萬餘噸ニ達スル見込ナリ

而シテ原料木材ノ使用量ニ就テハ大正九年ノ三百九十三萬八千餘石ニ對シ同年ニハ稍々減少シテ三百四十八萬餘石トナリシモ十一年以降逐年増加シ昭和三年中ハ大正十年ニ比シ十割増ヲ示シ昭和四年ニハ昭和三年ニ比シ更ニ一割一分ノ増加ヲ來サントスル見込ナリ



第四段 木材「パルプ」ノ市況
第三段 大正二年以訖木材「パルプ」ノ需給高果平乳製
第二段 木材「パルプ」ノ輸出
第一段 木材「パルプ」ノ輸入
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ輸出入状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ製造業
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ消費状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ貯蓄状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ貿易状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ生産状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ消費状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ貯蓄状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ貿易状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ生産状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ消費状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ貯蓄状況
本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ貿易状況

日 本

第一節 本邦ニ於ケル木材「パルプ」製造狀況

第一項 木材「パルプ」製造會社工場ノ變遷

大正十年以降大正十五年ニ至ル六ケ年間ハ會社ノ組織ニ就キ種々變遷アリ殊ニ多數會社ノ併合ヲ見タリ即チ大正十年中王子製紙株式會社ハ樺太産業株式會社及朝鮮製紙會社ヲ合併シ超エテ大正十三年十月二月北海工業株式會社ヲ買收セリ又富士製紙株式會社ハ大正十一年日本化學紙料株式會社ヲ十二年富士「パルプ」株式會社、十四年大日本製紙株式會社中川工場ヲ併合セリ尙ホ樺太工業株式會社モ大正十五年三月中央製紙及九州製紙ノ二大會社ヲ併合セリ而シテ一度事業ヲ開始セルモ其後休業中ナリシ三浦物産株式會社八束村工場ハ爾來「パルプ」製造ヲ開始セズ鴨綠江製紙株式會社ノ南滿洲安東工場ハ大正十一年八月ヨリ休業中ノ處昭和二年一月ヨリ又富士製紙株式會社樺太知取工場ハ大正十五年九月ヨリ事業ヲ開始セリ既設工場中内地材ノ供給困難トナレル結果王子製紙株式會社ノ静岡縣氣田工場ハ大正十一年二月ニ同社静岡縣中部工場ハ大正十三年九月二十五日樺太工業株式會社木曾工場ハ昭和三年八月ニ工場ヲ閉鎖シ富士製紙會社中川工場ハ同三年木材「パルプ」ノ製造ヲ中止セリ而シテ大正九年中會社數十七工場數三十一ニ對シ同十年ニハ會社數十三、作業工場二十八ヲ數ヘ昭和

三年ニハ六會社、二十八工場トナレリ前記作業工場二十八ノ中碎木「パルプ」(グラウンドパルプ)ノミヲ製造スルモノ七工場亞硫酸「パルプ」(サルファイトパルプ)ノミヲ製造スルモノ七工場、兩者ヲ併セ製造スルモノ十四工場トス現時木材「パルプ」ノ製造ヲ專業トスルモノハ王子製紙株式會社ノ樺太大泊工場、同野田工場、富士製紙株式會社ノ北海道金山工場、同池田工場、樺太工業株式會社ノ泊居工場、東海紙料株式會社ノ静岡縣島田町工場、樺太木材紙料株式會社ノ伏木工場ノ五會社七工場ニシテ其内碎木「パルプ」ノミヲ製造スルモノ二工場亞硫酸「パルプ」ノミヲ製造スルモノ四工場兩者ヲ併セ行フモノ一工場トス

第二項 木材「パルプ」ノ産額

本邦ニ於ケル木材「パルプ」ノ産額ハ大正二年ニハ七萬六千餘噸ニシテ同九年迄ハ漸次増加シ同九年ハ二十六萬八千餘噸ニ上リシモ翌十年ニハ前年ノ約七%即チ一萬八千餘噸ヲ減シタリ然ルニ十一年ヨリ再ヒ年々増加シ昭和三年ニハ五十六萬七千餘噸ニ達シ前年ニ比シ六分大正九年ニ比スレハ十一割強ノ増加ヲ示セリ

而シテ大正九年迄ニ著シク生産ノ増加セル地方ハ樺太及北海道ナリシモ同十年中北海道及朝鮮ニ於テノミ産出稍々増加シテ北海道十二萬三千餘噸朝鮮一萬餘噸ヲ算セシモ樺太ニ於テハ五萬四千餘噸内地

ニ於テハ六萬一千餘噸ニ減少シタリ然ルニ翌十一年ニハ朝鮮ニ於テ若干ノ生産減少ヲ示セルモ樺太、北海道、内地何レモ増加セリ十二年及十三年中朝鮮ニハ其生産ナカリシモ樺太、北海道及内地ハ何レモ生産ヲ増加シ更ニ翌十四年ニハ樺太十二萬二千餘噸、北海道十七萬餘噸、内地十一萬三千餘噸、朝鮮八千三百八十噸ニ達シ十五年ニハ樺太十六萬一千餘噸、北海道十九萬四千餘噸、内地十三萬二千餘噸、朝鮮一萬二千餘噸翌昭和三年中ハ樺太二十三萬七千餘噸、北海道十八萬七千餘噸、内地十二萬八千餘噸朝鮮一萬三千餘噸トナレリ

本邦産木材「バルブ」大正四年以降昭和三年ニ至ル生産量ヲ示セハ次表ノ如シ

年次	生産量 (噸)	前年ニ比シ増(減)歩合	指數
大正四年	一一二、〇七五	1%	一〇〇
大正五年	一三四、九六八	二〇	一一〇
大正六年	一六九、〇三六	二五	一一五
大正七年	一九八、五九六	一七	一七七
大正八年	二三五、二二七	一八	二一〇
大正九年	二六八、二六一	一四	二二九
大正十年	二五〇、〇二七	(六・八)	二二三
大正十一年	三〇一、四二五	二二	二六九

年次	生産見込	前年ニ比シ増(減)歩合	指數
大正十二年	三三八、一〇六	一一	三〇二
大正十三年	三五七、〇八四	五	三一九
大正十四年	四一四、七〇六	一六	三七〇
大正十五年	五〇〇、三〇一	二〇	四四六
昭和元年	五三六、三九〇	七	四七九
昭和二年	五六七、五二九	六	五〇六
昭和三年	六三六、四一六	一二	五六八

備考 括弧内ノ數字ハ負數ヲ示ス

木材「バルブ」ノ將來ニ對スル生産見込ハ樺太ニ於テ三十萬七千餘噸、北海道二十三萬八千餘噸、内地十四萬一千餘噸、朝鮮一萬五千噸合計七十萬三千餘噸ニ達スヘク推定セラレ

次ニ木材「バルブ」ノ種類別生産ニ就キ觀ルニ大正二年ニハ亞硫酸「バルブ」一萬五千七十七噸、碎木「バルブ」五萬四千四噸ニシテ其割合前者三割七分後者六割三分ナリシカ爾來亞硫酸「バルブ」ノ生産著シク増加シ同八年ヨリ遂ニ亞硫酸「バルブ」ハ碎木「バルブ」ノ産額ヲ凌駕スルニ至リ昭和三年ニハ亞硫酸「バルブ」三十一萬餘噸、碎木「バルブ」二十三萬七千二百餘噸「クラフトバルブ」二萬三百餘噸ノ産出ヲ見タリ而シテ其割合亞硫酸「バルブ」五割四分強、碎木「バルブ」四割一分「クラフトバルブ」約四分ニ當ル更ニ昭和三年中ニ於ケル木材「バルブ」ノ生産狀況ヲ述ヘンニ前年ニ比シ産出ノ増加セシ工場數十

六其増加額五萬千五百三十二噸ニ達セリ其内増加率ノ比較的著シキモノハ樺太工業株式會社ニアリテハ泊居工場、眞岡工場、八代工場、中津工場、王子製紙株式會社ニアリテハ豊原工場、新義州工場、富士製紙株式會社ニアリテハ富士第三工場、同神崎工場、池田工場、知取工場、落合工場、北越製紙株式會社新潟工場ノ十一工場トス其増加量五萬四千九十一噸ニシテ其他ノ増加量ハ僅ニ千四十一噸ニ過キス而シテ前年ニ比シ生産ノ減少セシモノハ十四工場其減産量ハ二萬三千九十三噸斯クテ結局前年ニ比シ三萬千三百三十九噸ノ増加トナル而シテ富士製紙株式會社樺太落合工場ニ於ケル「クラフトバルブ」ノ製造ハ大正十四年以來ノコトニ屬シ本邦ニ於テハ近時ノ發達ニ係ルモノナルモ昭和三年中ノ生産二萬三百六噸ノ多キニ上レリ尙ホ最近ノ生産ニ係ル晒「バルブ」ハ昭和三年中樺太工業株式會社泊居工場三千八十噸、同惠須取工場一萬一千五百噸、計一萬四千五百八十噸ニ及ヒ更ニ本年ハ二萬五千噸ヲ産出ノ見込ナリ

會社、工場別「バルブ」ノ産額

會社 工場	「バルブ」ノ種類				
	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	將來見込
王子製紙株式會社	三三、〇九〇	二五、三四〇	二四、五三〇	二五、七五五	三三、〇〇〇
抄紙兼業	三三、〇〇〇	二五、〇〇〇	二四、〇〇〇	二五、〇〇〇	三三、〇〇〇

會社 工場	「バルブ」ノ種類				
	昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	將來見込
北海道苫小牧工場	六六、三八一	七三、〇三三	六六、九七七	六六、七六一	七三、〇〇〇
抄紙兼業	六六、〇〇〇	七三、〇〇〇	六六、〇〇〇	六六、〇〇〇	七三、〇〇〇
富山縣伏木工場	八九、四七一	九八、三五三	九四、五七七	九三、五二六	九九、〇〇〇
抄紙兼業	八九、〇〇〇	九八、〇〇〇	九四、〇〇〇	九三、〇〇〇	九九、〇〇〇
樺太大泊工場	九三、七七七	一一、五三三	一一、六〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇
抄紙兼業	九三、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇
同 豊原工場	一一、八四九	一一、五二五	一一、九〇四	一一、六六一	一一、〇〇〇
抄紙兼業	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇
同 野田工場	二二、三三九	二二、〇六一	二二、五〇四	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇
抄紙兼業	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇	二二、〇〇〇
同 朝鮮新義州工場	一四、八六五	一五、七六二	一五、四一一	一五、六三三	一七、〇〇〇
抄紙兼業	一四、〇〇〇	一五、〇〇〇	一四、〇〇〇	一五、〇〇〇	一七、〇〇〇
合 計	一五、〇七一	一七三、五六〇	一七四、三七四	一八二、三三二	一九四、〇〇〇
抄紙兼業	一五、〇〇〇	一七三、〇〇〇	一七四、〇〇〇	一八二、〇〇〇	一九四、〇〇〇

木材「バルブ」ノ地方及種類別生産額

工場所在地	木材「バルブ」種類	大正十四年					大正十五年					昭和二年					昭和三年					昭和四年見込					昭和四年見込					将来見込				
		サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率
樺太	サルフアイトバルブ	120,974			120,974	100.0	154,576			154,576	100.0	190,508			190,508	100.0	18,361			18,361	100.0	27,683			27,683	100.0	33,076			33,076	100.0	49,136			49,136	100.0
樺太	グラウンドバルブ		1,130		1,130	100.0	6,856			6,856	100.0	8,918			8,918	100.0	1,361			1,361	100.0	3,881			3,881	100.0	4,913			4,913	100.0	7,000			7,000	100.0
樺太	クラフトバルブ			1,110	1,110	100.0	6,856		8,918	15,774	100.0	20,306		26,701	47,012	100.0	2,555		26,701	29,256	100.0	37,019		7,316	44,335	100.0	50,000		10,143	60,178	100.0	73,700		12,700	86,478	100.0
樺太	計	120,974	1,130	1,110	123,214	100.0	161,432	6,856	15,774	184,062	100.0	208,826	8,918	29,256	338,088	100.0	21,716	8,918	30,634	338,088	100.0	315,702	3,881	37,019	352,721	100.0	400,000	4,913	60,178	465,091	100.0	537,776	7,000	12,700	557,476	100.0
北海道	サルフアイトバルブ	55,589			55,589	100.0	64,903			64,903	100.0	65,019			65,019	100.0	6,662			6,662	100.0	7,138			7,138	100.0	7,138			7,138	100.0	7,138			7,138	100.0
北海道	グラウンドバルブ	115,283			115,283	100.0	129,628			129,628	100.0	148,487			148,487	100.0	131,803			131,803	100.0	161,825			161,825	100.0	161,825			161,825	100.0	161,825			161,825	100.0
北海道	計	170,872			170,872	100.0	194,531			194,531	100.0	213,506			213,506	100.0	198,465			198,465	100.0	233,650			233,650	100.0	233,650			233,650	100.0	233,650			233,650	100.0
内地	サルフアイトバルブ	25,828			25,828	100.0	26,897			26,897	100.0	26,568			26,568	100.0	3,338			3,338	100.0	3,575			3,575	100.0	4,015			4,015	100.0	4,015			4,015	100.0
内地	グラウンドバルブ	87,633			87,633	100.0	105,134			105,134	100.0	99,537			99,537	100.0	101,922			101,922	100.0	101,922			101,922	100.0	101,922			101,922	100.0	101,922			101,922	100.0
内地	計	113,461			113,461	100.0	131,031			131,031	100.0	126,105			126,105	100.0	105,460			105,460	100.0	103,497			103,497	100.0	103,497			103,497	100.0	103,497			103,497	100.0
朝鮮	サルフアイトバルブ	8,280			8,280	100.0	11,307			11,307	100.0	5,396			5,396	100.0	13,296			13,296	100.0	15,000			15,000	100.0	15,000			15,000	100.0	15,000			15,000	100.0
合計	サルフアイトバルブ	210,671			210,671	100.0	258,633			258,633	100.0	287,491			287,491	100.0	310,010			310,010	100.0	337,019			337,019	100.0	364,381			364,381	100.0	364,381			364,381	100.0
合計	グラウンドバルブ	101,915			101,915	100.0	124,732			124,732	100.0	139,981			139,981	100.0	127,203			127,203	100.0	127,203			127,203	100.0	127,203			127,203	100.0	127,203			127,203	100.0
合計	計	312,586			312,586	100.0	383,365			383,365	100.0	427,472			427,472	100.0	467,213			467,213	100.0	504,222			504,222	100.0	531,584			531,584	100.0	531,584			531,584	100.0

木材「バルブ」産額ノ地方別割合ヲ示セハ次ノ如シ

工場所在地	大正十五年					昭和二年					昭和三年					昭和四年見込					将来見込														
	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率	サルフアイトバルブ	グラウンドバルブ	クラフトバルブ	計	同率
樺太	161,432	1,130	1,110	163,672	100.0	161,432	6,856	15,774	184,062	100.0	208,826	8,918	29,256	338,088	100.0	21,716	8,918	30,634	338,088	100.0	315,702	3,881	37,019	352,721	100.0	400,000	4,913	60,178	465,091	100.0	537,776	7,000	12,700	557,476	100.0
北海道	170,872			170,872	100.0	194,531			194,531	100.0	213,506			213,506	100.0	198,465			198,465	100.0	233,650			233,650	100.0	233,650			233,650	100.0	233,650			233,650	100.0
内地	113,461			113,461	100.0	131,031			131,031	100.0	126,105			126,105	100.0	105,460			105,460	100.0	103,497			103,497	100.0	103,497			103,497	100.0	103,497			103,497	100.0
朝鮮	8,280			8,280	100.0	11,307			11,307	100.0	5,396			5,396	100.0	13,296			13,296	100.0	15,000			15,000	100.0	15,000			15,000	100.0	15,000			15,000	100.0
合計	312,586	1,130	1,110	314,826	100.0	383,365	6,856	15,774	405,995	100.0	427,472	8,918	29,256	465,646	100.0	467,213	8,918	30,634	506,765	100.0	504,222	3,881	37,019	545,122	100.0	531,584	4,913	60,178	596,671	100.0	557,476	7,000	12,700	577,176	100.0

更ニ昭和三年及同四年見込木材「バルブ」産額ニ就キ種類別ノ割合ヲ示セハ左表ノ如シ

及抄紙兼業工場		抄紙		兼業		工場		場	
計	内地	朝鮮	合計	満洲	合計	計	計	計	計
計	サルフアイトバルブ グラウンドバルブ 計	サルフアイトバルブ	サルフアイトバルブ グラウンドバルブ クラフトバルブ 計	サルフアイトバルブ グラウンドバルブ 計	サルフアイトバルブ グラウンドバルブ 計	計	計	計	計
一六八、三三三	二五、五九七 九二、六四八 一八、二四五	一一、三〇七	二五八、六八二 二二四、八二三 六、八五六 三、五〇八、九三	二五八、六八二 二二四、八二三 六、八五六	二五八、六八二 二二四、八二三 六、八五六	五〇〇、三〇一	五〇〇、三〇一	五〇〇、三〇一	五〇〇、三〇一
一七三、二八八	一七、五三七 五、八二九 六九、三六六	五、三九六	二八七、四九一 二二九、九八一 八、九一八 三、五八、七三六	二八七、四九一 二二九、九八一 八、九一八	二八七、四九一 二二九、九八一 八、九一八	五三六、三九〇	五三六、三九〇	五三六、三九〇	五三六、三九〇
一六二、一七三	三三、三三八 八八、五九四 一一、九三三	一三、二六六	三三〇、〇一〇 二二七、三〇三 一〇、三〇六 四、六九、一五〇	三三〇、〇一〇 二二七、三〇三 一〇、三〇六	三三〇、〇一〇 二二七、三〇三 一〇、三〇六	五六七、五二九	五六七、五二九	五六七、五二九	五六七、五二九
一七三、二九七	三五、六七五 九四、八六二 一三〇、五三七	一五、〇〇〇	三三七、〇一九 二七三、六九六 二六、七〇一 五、三九、一九九	三三七、〇一九 二七三、六九六 二六、七〇一	三三七、〇一九 二七三、六九六 二六、七〇一	六三六、四二六	六三六、四二六	六三六、四二六	六三六、四二六
	王子製紙株式會社伏木工場、富士製紙株式會社富士第一工場、同第二工場、同第三工場、芝川工場、千住工場、神崎工場、江川工場、北越製紙株式會社新潟工場、樺太工業株式會社坂本工場、八代工場、中津町工場、木曾工場	王子製紙株式會社新義州工場	鴨綠江製紙株式會社安東工場						

種別	昭和二年		昭和三年		昭和四年見込	
	木材「バルブ」種類	噸	木材「バルブ」種類	噸	木材「バルブ」種類	噸
サルフアイトバルブ	一三三、二七五	六九・四%	八五、〇五八	八六・五%	八四、〇九四	八六・五%
グラウンドバルブ	五四、三七七	三〇・六%	一一、三三三	一三・五%	一一、三三三	一一・五%
計	一七七、六五二	一〇・一%	九八、三九二	一〇・〇%	九七、二二七	一〇・〇%
サルフアイトバルブ	一四四、二二六	四三・八%	二二四、九六四	四八・〇%	二五二、九二五	四六・九%
グラウンドバルブ	(八五、六〇四)	五一・七%	二二、三八〇	四七・七%	二五九、五七三	四八・一%
計	二三〇、八三〇	一〇〇・〇%	二四六、二五〇	一〇〇・〇%	五三九、一九九	一〇〇・〇%
計	五三六、三九〇	一〇〇・〇%	五六七、五二九	一〇〇・〇%	六三六、四二六	一〇〇・〇%

第三項 木材「バルブ」原料使用額

本邦ニ於ケル「バルブ」原料木材ノ使用量ハ大正二年ニ百一萬三千餘石ナリシカ同七年ニハ二百七十六萬石トナリ五ヶ年間ニ約二倍七分ノ増加ヲ來シ更ニ同九年ニ三百九十三萬八千餘石トナリ僅々二ヶ年間ニ四割二分以上ノ増加ヲ示シタルモ同十年ハ前年ヨリ約一割一分強即チ四十五萬石ヲ減シタリ然ルニ同十一年ハ前年ヨリ約二割同十二年ハ約一割同十三年約五分翌十四年ハ約一割八分同十五年昭和元年ハ約二割一分ヲ昭和二年ニハ約一分ヲ増加シ昭和二年中ノ使用額七百九萬三千餘石ニ上リ更ニ昭和

三年ニハ前年ヨリ一割一分ノ増加ヲ見其使用額七百九十萬五千餘石ノ多キニ及ヘリ而シテ大正九年迄ノ使用量ノ著シク増加セル地方ハ樺太及北海道ニシテ樺太百三十五萬餘石、北海道百六十萬七千餘石ナルニ對シ内地ニ於テハ僅ニ七十六萬九千餘石ヲ算スルニ過キス朝鮮ニ於テハ大正八年事業ヲ開始シ九年ニハ二十一萬餘石ヲ使用セリ超エテ大正十一年以降昭和二年迄ハ内地、北海道、樺太ニ於ケル木材ノ使用量ヲ年々増加セリ但シ昭和三年中ノ内地ハ前年ヨリ約三割ヲ増加シ百四十三萬二千五百一十一石トナリ、北海道ハ約五厘ノ減少ヲ示シテ二百四十一萬五千七百七十二石、樺太ハ一割三分ヲ増加シ三百八十二萬五千九百二十五石ヲ算セリ而シテ曩キニ休業中ノ朝鮮工場ニ於テモ大正十四年下半期ヨリ事業ヲ開始シ大正十五年中ハ二十萬三千八百四十四石ナリシガ昭和三年ニハ二十三萬六千二百三十六石ノ多キニ及ヘリ

製紙原料木材ニ就キ大正四年以降昭和三年ニ至ル累年ノ使用量ヲ比較スルニ次表ノ如シ

年次	使用量(石)	前年ニ比シ増(減)歩合(%)	指數
大正四年	一、四三一、五九一		一〇〇
大正五年	一、七九三、八六九	二五	一二五
大正六年	二、三一九、二六七	二九	一六二
大正七年	二、七六八、〇六七	一九	一九三

年次	使用量(石)	前年ニ比シ増(減)歩合(%)	指數
大正八年	三、三八九、六三〇	二二	二三七
大正九年	三、九三八、三六〇	一六	二七五
大正十年	三、四八七、五五七	(二・四)	二四四
大正十一年	四、一八四、五八〇	二〇	二九二
大正十二年	四、六一〇、四〇五	一〇	三二二
大正十三年	四、八三二、五二一	五	三三八
大正十四年	五、六七二、九六〇	一七	三九六
大正十五年	七、〇一〇、四二三	二四	四九〇
昭和元年	七、〇九三、二二〇	一	四九五
昭和二年	七、九〇五、八八四	一一	五五二
昭和三年	八、八一五、六四二	一一	六一六

原料木材ノ將來ニ於ケル使用見込額ハ曩ニ九百六十七萬四千餘石ト推定セラレシカ工場ノ伸縮擴張等ニヨリテ異動アルヲ免レサル所ナルモ樺太ニ於テハ四百八十四萬三千餘石、北海道二百九十七萬二千石内地ニ於テ百七十萬八千餘石、朝鮮ニ於テ二十四萬石合計九百七十六萬四千餘石ニ達スヘク推定セラル次ニ原料木材ノ產地別ニ就キ之ヲ見ルニ大正二年ニハ内地材十二萬七千餘石、北海道材八十五萬二千餘石、樺太材三萬三千餘石ニ過キサリシモ大正九年ニハ内地材十二萬一千餘石、北海道材百九十七萬四千餘石、樺太材百六十三萬一千餘石トナリ北海道材、樺太材ハ何レモ著シク増加シ更ニ朝鮮材

二十一萬餘石ヲ加ヘタリ大正十年ニハ北海道材、百九十九萬餘石、朝鮮材二十二萬八千餘石トナリシニ内地材ハ十萬六千餘石、樺太材ハ百十三萬六千餘石ニ減少シタルモ新ニ西伯利材二萬三千餘石ノ使用ヲ見タリ翌十一年ニハ西伯利材及樺太材著シク増加シ又北海道材モ亦稍々増加ヲ見タリシカ内地材及朝鮮材ハ何レモ其量ヲ減シタリ更ニ大正十二年同十三年同十四年同十五年ノ狀況ヲ見ルニ獨リ樺太材、北海道材ハ年ヲ逐フテ増加シ西伯利材ハ十二年ニ増加ヲ示セルモ翌十三年ニハ前年ノ約半額ニ下リ更ニ大正十四年以降久シク之カ使用ヲ見サリシモ昭和三年ニ一千百餘石ヲ使用セリ之ニ反シ北海道材ハ十二年ニ稍々減少ヲ見タルノミニシテ翌十三年ニハ再ヒ増加シ更ニ大正十四年同十五年中ハ引續キ其量ヲ増シタルモ昭和二年同三年ハ減少ノ傾向ヲ示シ昭和三年中ノ使用額二百四十一萬一千餘石トナレリ而シテ内地材ハ近時逐年激減ノ一方ニ在リテ昭和三年中三百餘石ヲ使用セリ即チ大正二年ヨリ同八年迄ハ次第ニ増加セルモ同八年ノ二十萬七千餘石ヲ最高トシ翌九年ヨリ年々減少ヲ續ケ大正十五年ニハ僅ニ一萬九千五百五十石昭和三年三百六十九石ヲ使用セルニ過キヌシテ何レモ内地工場ニ供給セラレタルモノナリ

次ニ北海道材ハ大正二年僅ニ八十五萬二千餘石ノ使用ニ過キサリシカ爾來歲ト共ニ増加シ同十年ニハ百九十九萬二千餘石、同十一年ニハ二百十二萬五千餘石、同十二年ハ稍々減少シ二百十萬三千餘石トナリ同十三、十四、十五年ニハ年々増加ノ一方ニ在リシモ昭和二、三年中ハ何レモ前年ヨリ稍々減少ヲ示セリ

樺太材ニ就テハ大正二年ニハ僅ニ三萬三千餘石ナリシモ爾來急激ニ増加シ同九年ニハ百六十三萬一千餘石トナリ同十年ハ一旦百十三萬六千餘石ニ減少セシモ翌十年以降年々激増シ大正十一年百七十萬三千餘石、同十二年二百三十一萬餘石、同十三年二百五十一萬三千餘石、同十四年三百二十九萬五千餘石同十五年ハ四百三十四萬五千餘石、昭和二年中ハ四百五十二萬三千餘石、同三年五百二十六萬八千餘石ニ増加セリ、昭和三年中ノ同材ニシテ内地工場ニ於テ使用セシモノハ百四十三萬餘石、朝鮮工場ニ於テ使用セシモノ一萬一千餘石ナルカ故ニ三百八十二萬五千餘石ハ樺太工場ニ於テ使用セルモノナリ次ニ工場所在地別ニ原料木材ノ使用量ヲ見ルニ昭和三年中内地工場ニ於テ百四十三萬二千餘石、北海道工場二百四十一萬一千餘石、樺太工場三百八十二萬五千餘石ヲ算セリ

而シテ同年中内地工場ノ使用量ヲ産地別ニ就キ之ヲ見ルニ前年ト同シク樺太材最モ多ク其額百四十三萬餘石ニシテ前年ノ同材使用量ヨリ三割強ノ増加ヲ示セリ尙ホ北海道材ハ昭和二、三年中ハ皆無トナリ大正十一年迄ノ情勢トハ其趣ヲ一變セリ

西伯利材ニ就テハ大正十年ニハ富士製紙株式會社ニ於テ二萬三千餘石ノ使用ヲ見タルニ止マリシモ大正十二年ニハ富士製紙株式會社七萬一千餘石、北越製紙會社五千餘石計七萬六千餘石ヲ使用シタルノミ超エテ同十四、十五、昭和二年中ニ於テモ之カ使用ヲ見ス然ルニ昭和三年ニ至リ王子製紙會社伏木工場ニ於テ千餘石ノ使用ヲ見タリ

同	芝川工場	北海道材	一七、三五六	一四、七〇九	六七、二〇三	四三、九六四	四二、四二六	四五、〇〇〇
		樺太材	九四、〇四六	一〇九、二三八	六七、二〇三	四三、九六四	四二、四二六	四五、〇〇〇
		西伯利材			六七、二〇三	四三、九六四	四二、四二六	四五、〇〇〇
		計	一一、三〇二	一三、九四七	六七、二〇三	四三、九六四	四二、四二六	四五、〇〇〇
		北海道材			二六、一六六	二七、六九二	二八、〇〇〇	
		樺太材	一四、五五九	二四、一九一	二二、四〇五	二六、一六六	二七、六九二	二八、〇〇〇
		西伯利材			二二、四〇五	二六、一六六	二七、六九二	二八、〇〇〇
		計	一四、五五九	二四、一九一	二二、四〇五	二六、一六六	二七、六九二	二八、〇〇〇
		樺太材			一七、九二八	二一、七八七	四七、五五三	四八、〇〇〇
		北海道材			一七、九二八	二一、七八七	四七、五五三	四八、〇〇〇
		計			一七、九二八	二一、七八七	四七、五五三	四八、〇〇〇
		樺太材	三三、七四九	三三、六七九	三五、五三三	三一、七八七	四七、五五三	四八、〇〇〇
		計	三三、七四九	三三、六七九	三五、五三三	三一、七八七	四七、五五三	四八、〇〇〇
		北海道材	五〇四、七四九	五九三、五四三	五七九、三四六	五九九、二三三	六〇〇、〇〇〇	
		計	五〇四、七四九	五九三、五四三	五七九、三四六	五九九、二三三	六〇〇、〇〇〇	
		北海道材	六七、七九七	六九、六三三	六〇、二七三	五六七、六四	五七、八八九	七八、〇〇〇
		計	六七、七九七	六九、六三三	六〇、二七三	五六七、六四	五七、八八九	七八、〇〇〇
		北海道材	一六四、五三八	二七五、三二三	二八〇、九八七	二六七、六四	三〇二、六九〇	三六六、〇〇〇
		計	一六四、五三八	二七五、三二三	二八〇、九八七	二六七、六四	三〇二、六九〇	三六六、〇〇〇
		北海道材	三三〇、八九五	三三六、六五七	三四九、四四九	三六六、五六〇	三七八、〇〇〇	
		計	三三〇、八九五	三三六、六五七	三四九、四四九	三六六、五六〇	三七八、〇〇〇	
		北海道材	四五七、五四	五九八、八一四	五九一、八四四	七七三、〇四六	一、〇〇九、九七六	一、〇〇九、〇〇〇
		計	四五七、五四	五九八、八一四	五九一、八四四	七七三、〇四六	一、〇〇九、九七六	一、〇〇九、〇〇〇
		北海道材			三四二、四二三	五一六、六三三	六五四、四四三	八〇四、七五〇
		計			三四二、四二三	五一六、六三三	六五四、四四三	八〇四、七五〇

東京府江戸川工場	樺太材	二二、五四九	二八、九七一	一一、七九三	一一、四三八	二一、〇七三	二五、〇〇〇
	計	二二、五四九	二八、九七一	一一、七九三	一一、四三八	二一、〇七三	二五、〇〇〇
	内地材						
	北海道材	一、一三〇、五四二	一、三四三、五三八	一、二五五、〇〇〇	一、二七三、九六三	一、三三七、八二二	一、四三三、〇〇〇
	計	一、一三〇、五四二	一、三四三、五三八	一、二五五、〇〇〇	一、二七三、九六三	一、三三七、八二二	一、四三三、〇〇〇
	樺太材	九〇三、七一九	一、二二六、八二六	一、二五九、五七三	一、七八六、九五〇	二、一七三、八五〇	二、三三六、七五〇
	計	九〇三、七一九	一、二二六、八二六	一、二五九、五七三	一、七八六、九五〇	二、一七三、八五〇	二、三三六、七五〇
	西伯利材						
	計	二、〇三三、二六〇	二、五五九、三六五	二、五一四、六三三	三、〇六〇、九一三	三、五一〇、六六三	三、七六六、七五〇
東京府工業株式會社	樺太材	五〇一、五〇〇	五五三、六五六	五七二、九六〇	五八六、一六〇	六二一、二〇〇	六八〇、〇〇〇
	計	五〇一、五〇〇	五五三、六五六	五七二、九六〇	五八六、一六〇	六二一、二〇〇	六八〇、〇〇〇
	樺太材	一七、〇〇〇	四三、七六九	四八九、二一〇	五〇八、二五九	六六七、七〇〇	七〇七、〇〇〇
	計	一七、〇〇〇	四三、七六九	四八九、二一〇	五〇八、二五九	六六七、七〇〇	七〇七、〇〇〇
	樺太材	三三三、〇〇〇	三四八、九三五	三四九、二五五	三八九、四八三	四二二、五〇〇	四三三、二二五
	計	三三三、〇〇〇	三四八、九三五	三四九、二五五	三八九、四八三	四二二、五〇〇	四三三、二二五
	樺太材	一六四、六四八	二〇五、一六七	一六三、八一六	一五六、八五二	一七三、〇〇〇	二〇四、五〇〇
	計	一六四、六四八	二〇五、一六七	一六三、八一六	一五六、八五二	一七三、〇〇〇	二〇四、五〇〇
	樺太材	八四、八二〇	一三三、六七〇	一四四、七三三	二九二、〇一八	三〇六、六〇〇	三〇六、六〇〇
	計	八四、八二〇	一三三、六七〇	一四四、七三三	二九二、〇一八	三〇六、六〇〇	三〇六、六〇〇
	内地材	二〇、七九九	一三、〇〇〇				
	計	二〇、七九九	一三、〇〇〇				
	樺太材	九〇、三九七	二七、一五五	二二、八二五	一五、四六七	一八七、九八〇	一九〇、七四〇
	計	九〇、三九七	二七、一五五	二二、八二五	一五、四六七	一八七、九八〇	一九〇、七四〇
	内地材	一一、一九六	一〇〇、一五五	一一、八二五	一五、四六七	一八七、九八〇	一九〇、七四〇
	計	一一、一九六	一〇〇、一五五	一一、八二五	一五、四六七	一八七、九八〇	一九〇、七四〇
	樺太材	七、三二〇	四、一五三				
	計	七、三二〇	四、一五三				
	内地材	六三、一八三	七、八九八	五九、〇七〇	三四、八二二		
	計	六三、一八三	七、八九八	五九、〇七〇	三四、八二二		

製造原料木材産地別使用額

木材ノ産地	工場所在地	昭和十五年				昭和二年				昭和三年				昭和四年見込				将来見込			
		積	百分率	積	百分率	積	百分率	積	百分率	積	百分率	積	百分率	積	百分率	積	百分率	積	百分率		
内地材	内地	一九、三六三																			
北海道材	北海道	六七、四〇五																			
計	計	二、四四三、四三七																			
樺太材	樺太	二、五〇九、八三三																			
朝鮮材	朝鮮	一、四三三、〇五三																			
計	計	四、三三、二〇〇																			
内地材	内地	二、八二二、一一三																			
樺太材	樺太	二、八二二、一一三																			
計	計	六八、二二〇																			
朝鮮材	朝鮮	四、三四五、五九五																			
計	計	一、三五、六三四																			
内地材	内地	(七、三〇六)																			
樺太材	樺太	一、五六、一六八																			
計	計	(一、六六)																			
内地材	内地	三、八三三、二六三																			
樺太材	樺太	三、九、五六〇																			
計	計	四、五三三、九〇五																			
内地材	内地	一、〇九四、三〇三																			
樺太材	樺太	六、七八〇																			
計	計	一、〇九四、三〇三																			
内地材	内地	二、四二一、一四七																			
樺太材	樺太	二、四二一、一四七																			
計	計	二、四二一、一四七																			
内地材	内地	三、八二五、九二五																			
樺太材	樺太	一、一、四四〇																			
計	計	五、三六八、〇〇一																			
内地材	内地	四、五二五、八二八																			
樺太材	樺太	六、〇三六、八三〇																			
計	計	一、二、四〇〇																			
内地材	内地	二、五三七、八二二																			
樺太材	樺太	二、五三七、八二二																			
計	計	二、五三七、八二二																			
内地材	内地	一、五二一、〇二二																			
樺太材	樺太	一、四三〇、六七六																			
計	計	一、四三〇、六七六																			
内地材	内地	二、四二一、一四七																			
樺太材	樺太	二、四二一、一四七																			
計	計	二、四二一、一四七																			
内地材	内地	三、八二五、九二五																			
樺太材	樺太	一、一、四四〇																			
計	計	五、三六八、〇〇一																			
内地材	内地	四、五二五、八二八																			
樺太材	樺太	六、〇三六、八三〇																			
計	計	一、二、四〇〇																			
内地材	内地	二、五三七、八二二																			
樺太材	樺太	二、五三七、八二二																			
計	計	二、五三七、八二二																			
内地材	内地	一、五二一、〇二二																			
樺太材	樺太	一、四三〇、六七六																			
計	計	一、四三〇、六七六																			
内地材	内地	二、四二一、一四七																			
樺太材	樺太	二、四二一、一四七																			
計	計	二、四二一、一四七																			
内地材	内地	三、八二五、九二五																			
樺太材	樺太	一、一、四四〇																			
計	計	五、三六八、〇〇一																			
内地材	内地	四、五二五、八二八																			
樺太材	樺太	六、〇三六、八三〇																			
計	計	一、二、四〇〇																			
内地材	内地	二、五三七、八二二																			
樺太材	樺太	二、五三七、八二二																			
計	計	二、五三七、八二二																			
内地材	内地	一、五二一、〇二二																			
樺太材	樺太	一、四三〇、六七六																			
計	計	一、四三〇、六七六																			
内地材	内地	二、四二一、一四七																			
樺太材	樺太	二、四二一、一四七																			
計	計	二、四二一、一四七																			
内地材	内地	三、八二五、九二五																			
樺太材	樺太	一、一、四四〇																			
計	計	五、三六八、〇〇一																			
内地材	内地	四、五二五、八二八																			
樺太材	樺太	六、〇三六、八三〇																			
計	計	一、二、四〇〇																			
内地材	内地	二、五三七、八二二																			
樺太材	樺太	二、五三七、八二二																			
計	計	二、五三七、八二二																			
内地材	内地	一、五二一、〇二二																			
樺太材	樺太	一、四三〇、六七六																			
計	計	一、四三〇、六七六																			
内地材	内地	二、四二一、一四七																			
樺太材	樺太	二、四二一、一四七																			
計	計	二、四二一、一四七																			
内地材	内地	三、八二五、九二五																			
樺太材	樺太	一、一、四四〇																			
計	計	五、三六八、〇〇一																			
内地材	内地	四、五二五、八二八																			
樺太材	樺太	六、〇三六、八三〇																			
計	計	一、二、四〇〇																			
内地材	内地	二、五三七、八二二																			
樺太材	樺太	二、五三七、八二二																			
計	計	二、五三七、八二二																			
内地材	内地	一、五二一、〇二二																			
樺太材	樺太	一、四三〇、六七六																			
計	計	一、四三〇、六七六																			

一、木材「パルプ」輸入累年表

年次	數量		價額	
	斤	噸	總額	斤當
大正三年	七六、一七五、〇〇〇	四、九四九	四、五七四、二二三	六・〇〇
大正四年	九〇、一九三、〇〇〇	五、三二四	五、九七四、八九一	六・六二
大正五年	九六、九六九、四二二	五、七二七	九、一〇、七七九	九・三〇
大正六年	二四、〇〇〇、四四一	一、四三三	二、八〇〇、七四一	一・六三
大正七年	四八、三三三、五五四	二、八五八	六、八三五、五八九	一・四一
大正八年	六八、一七五、九二八	四、〇二九	一〇、六六七、二〇六	一・五・六七
大正九年	七八、六三六、九一五	四、六四八	一三、一九〇、三八三	一・六・七七
大正十年	六五、六四五、六〇〇	三、八七五	八、八二九、一三八	一・三・四五
大正十一年	一一、五二〇、〇〇〇	六五、八七三	一一、七五五、四二一	一〇・五四
大正十二年	(七〇、〇一一、一〇〇)	(三五、四七)	(六、三三三、八三九)	(一〇・五五)
大正十三年	一〇〇、八三三、八〇〇	五九、五五三	一〇、六三三、七七五	一〇・五四
大正十四年	一三三、一〇六、三〇〇	七、四四〇	一四、九二五、二〇六	一一・三八
大正十五年	一〇六、九一五、三三三	六、三五一	一一、〇一七、八八三	一〇・三一
昭和元年	一一〇、七二二、一〇〇	七、一〇一	一一、九三〇、一五九	九・八八
昭和二年	一一三、八三三、一〇〇	七、三、一四四	一一、四五四、九八五	九・二五

(備考) 一、數量噸未滿四捨五入セルモノナリ
 一、前表昭和三年輸入數量ノ種類別内譯ヲ見ルニ「グラウンドパルプ」一七六、三〇〇斤其他ノ「パルプ」一、二三、六五五、八〇〇斤ノ割合ナリ
 一、輸出入斤數ノ長噸換算率ハ總テ一六九三斤ヲ一噸トセリ以下之ニ準ス
 一、大正十二年中之數量及價格ハ同年八月中ニ於ケル横濱港經由輸入ノ分(關東震火災ノ爲大藏省統計簿燒失ニ付其額不明)ヲ含マサルヲ以テ括弧ヲ附シテ區別セリ以下各表共括弧ノ分ハ之ニ準ス

二、木材「パルプ」國別輸入表

輸入國	大正十四年		大正十五年		昭和二年		昭和三年	
	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額
瑞典	三、四、五、四〇〇	三、九七、二二五	三、七五三、八〇〇	三、四七、二一七	一、七六五、三九三	一一、〇一三、五〇〇	一、一五六、七六	
挪威	八、一六、九〇〇	一、〇九四、七九五	九、三三八、九〇〇	一、一七〇、三九三	一、八〇四、六六七	一一、八〇三、一〇〇	一、五二七、六四	
北米合衆國	二、四七四、八〇〇	二、五二三、三二八	七、三三〇、五〇〇	七、九二、〇二二	五、九三、三七七	一一、三九四、五〇〇	一、二八九、九八	
加奈陀	五、九七八、二〇〇	五、七七〇、六〇五	五、三、七三、〇〇〇	四、九四五、二一六	七、一、五七、三〇〇	六、〇八〇、二六三	七九、一、五三、二〇〇	
其他	二、九二六、〇〇〇	一、五五九、二七三	一、四八九、一、〇三三	一、六三三、九五四	一、四、四五、九〇〇	一、六六六、四六〇	一〇、四六七、八〇〇	
合計	一三三、一〇六、三〇〇	一四、九二五、二〇六	一〇六、九一五、三三三	一一、〇七、八八二	一一、〇、七、二二〇	一一、九三〇、一五九	一三、八三三、一〇〇	

大正二年以降過去十四年間ニ於ケル木材「パルプ」輸入ノ趨勢ヲ見ルニ數量ニ於テ大正五年迄ハ年々大體増加ノ傾向ニアリシモ同六年ニ入り急ニ激減シ翌七年ハ増加シテ前年ノ約倍額ニ上リ同八、九年ハ更ニ増加セルモ同十年ハ前年ヨリ約一割七分ヲ減セリ然ルニ大正十一年ニハ激増シ六萬五千餘噸ニ達

シタルモ大正十二年ニ入り減少シ大正十年ノ分ニ略ホ相近似スルニ至レリ然ルニ大正十三年、同十四年ハ引續キ増加セルモ十五年ニ入り稍々減少シテ六三、一五一噸トナレリ更ニ昭和二年、同三年ニハ再ヒ増加ノ傾向アリ而シテ輸入ノ平均價額ハ大正元年以來同九年迄ハ年々騰貴ノ一方ヲ辿リ同十一年ヨリ急ニ低落シ同年以降ハ歲ヲ逐フテ安價ニ傾キ十三年ニハ一斤當リ僅ニ十錢五厘トナリ大正十四年ニ幾分ノ昂騰ヲ告ケタルモ十五年、昭和二年、同三年ニハ引續キ下向ノ一方ニシテ大正五年頃ノ價額トナレリ

而シテ木材「バルブ」ノ本邦ヘノ輸入國ハ從來瑞典、加奈陀及北米合衆國ノ三箇國ヲ主トシ相互ニ競争シテ時ニ盛衰アリ大正十年ニハ加奈陀品著シク激増シ其首位ヲ占メ瑞典品之ニ次キタルモ同十一年ニハ瑞典品ハ加奈陀品ヲ凌駕シ第一位ヲ占メ加奈陀品之ニ亞キ北米合衆國、諾威ノ順序トナレリ大正十二年ヨリ昭和二年迄ハ依然加奈陀品第一位ヲ占メ瑞典品之ニ次ク尙ホ昭和三年中加奈陀品ノ輸入依然第一位ニアリテ諾威、北米合衆國、瑞典ノ順序トナレリ

第二項 木材「バルブ」ノ輸出

本邦産木材「バルブ」輸出ハ大正六、七年頃ニハ年々四千噸内外ニ達シタルモ翌八年激減シテ僅ニ一千百餘噸トナリ同九年ニハ一躍八千八百八十噸ノ多キニ上リタルモ同十年ニ入り再ヒ一千百餘噸ニ減少シ同十一年中輸出極メテ不振ニ陥リ漸ク三十噸ニ過キス大正十二、十三、兩年ニハ一層不況トナリ僅ニ三、四噸ヲ輸出シタルノミ更ニ大正十四年ニハ僅ニ九百斤大正十五年中ハ輸出ナカリシモ昭和二年中ハ再ヒ輸出ヲ見ルニ至リ其額百七十噸ヲ算セルモ翌三年ハ皆無トナレリ而シテ其ノ輸出價格ニ就テモ大正九年迄ハ一斤當約金十四錢ナリシカ同十年ニハ著シク下落シ約半額トナリ僅ニ金六錢五厘トナレリ然ルニ同十一年ニハ稍持直シ九錢五厘強同十二年ニハ一斤當金九錢八厘同十三年更ニ九錢六厘ニ下リ其輸出總額ハ大正六年ニ八十七萬五千餘圓、同七年ニ百五萬餘圓同八年二十六萬四千餘圓トナリ同九年ハ急激ニ増加シテ在來ノ傾向ヲ一變シ實ニ百九十一萬餘圓ノ巨額ニ達セシモ翌十年急減シテ十二萬五千餘圓トナリ十一年ニハ更ニ減少シテ約五千圓トナリ十二年ニハ四百五十六圓、十三年六百五十六圓トナリ同十四年百五十一圓、同十五年中ハ皆無、昭和二年ハ二萬七千五百八十四圓ヲ算セルモ昭和三年ニハ再ヒ皆無トナレリ大正九年以降ノ輸出量ヲ示セハ次ノ如シ

年次	數量		價		格	
	斤	噸	總數	一斤當	一噸當	
大正九年	一三、七四三、八七	八、一八〇	一、九三、七四六	一三・九三	二五・五	

524
630

木材「パルプ」ノ内地市價一封度當ヲ示セハ次ノ如シ

第四項 木材「パルプ」ノ市價

木材「パルプ」ノ種類	昭和三十五年												
	一月	三月	五月	七月	九月	十一月	一月	三月	五月	七月	九月	十一月	
大正八年							二五、三二七	四〇、二六九	一、一〇六		二七、三九〇	二二、一七	七、〇
大正九年							二六、二六一	四六、四八	八、八〇		三〇、〇七九	二四、六三七	八、一〇
大正十年							二五、〇二七	三八、七七七	一、三三		二八、七六九	二六、八〇九	七、九〇
大正十一年							三〇、四三五	六五、八七三	三〇		三六、二六七	二七、一四〇	七、六〇
大正十二年							三三八、一〇六	三五、四七七	三		三七、五五〇	三〇、五三三	八、二〇
大正十三年							三五七、〇八四	五九、五五三	四		四一、六三三	三六、九三四	八、七〇
大正十四年							四一四、七〇六	七二、四四〇		五	四二、一四一	四一、五二四	八、四〇
大正十五年							五〇〇、三〇一	六三、一五一			五三、四五三	四六、六七七	八、三〇
昭和元年							五三六、三九〇	七三、三〇〇	一、七〇		六〇、七三〇	四七、三六三	七、八〇
昭和二年							五六七、五二九	七三、一四四			六四、〇六三	五六、〇六五	八、七〇

三五

第三項 木材「パルプ」需給高累年比較 (日本製紙聯合會調査)

年次	大正二年以降		同輸出高 (内地産)	逆輸出高 (外國産)	差引需要高	日本製紙聯合會員消費高	同百分率
	木材「パルプ」内地生産高	木材「パルプ」輸入高					
大正二年	七六、〇八一	四七、一三三	一、一三三		二三、二二四	一一、〇六〇	九〇・〇%
大正三年	八九、八七四	四四、九五四	三		一三四、八六八	一一、〇七八	九三・〇%
大正四年	一一〇、〇七五	五三、二三四	一、三三		一六五、三五四	一四、八四一	八八・〇%
大正五年	一三四、九六八	五七、二七七	一、三三	二七三	一九一、〇九五	一六七、八八四	八七・〇%
大正六年	一六九、〇三九	一四、二三四	三、七三	二七三	一七九、二六九	一六五、四五六	九二・〇%
大正七年	一九八、五九六	二八、五八八	三、〇八		二二三、二三六	一九七、三八五	八八・〇%

年次	大正二年以降		同輸出高 (内地産)	逆輸出高 (外國産)	差引需要高	日本製紙聯合會員消費高	同百分率
	木材「パルプ」内地生産高	木材「パルプ」輸入高					
大正十年	一九八、六〇〇	五二、二〇〇	一、一三三		一四五、五四九	一〇、八二二	一〇〇・〇%
大正十一年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、五六	一六〇・一六
大正十二年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七
大正十三年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七
大正十四年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七
大正十五年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七
昭和元年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七
昭和二年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七
昭和三年	一九八、六〇〇	四六、〇〇〇	三		四、九六五	九、八三	一五〇・六七

三四

524
630

昭和四年三月二十八日印刷
昭和四年三月三十一日發行

農 林 省 山 林 局

印刷者 小 張 才 三 郎
東京市京橋區南鍛冶町九番地

印刷所 小 張 印 刷 所
東京市京橋區南鍛冶町九番地

「グ ラ ウ ン ド バ ル プ」	ソ ド バ ル プ	プルパトイアフルサ							
		「プルパ」晒未		晒「バ ル プ」					
		漂 白 ノ キ カ マ モ ノ	漂 白 ノ キ ク モ ノ	獨 逸 品	瑞 典 品				
内地品	瑞 典 諸 威 品	加 奈 陀 品	瑞 典 諸 威 品	加 奈 陀 品	内 地 品	獨 逸 品	瑞 典 品	加 奈 陀 品	
四・八〇	九・〇〇	六・五〇	六・三〇	七・〇〇	六・三〇	六・七〇	八・二〇	八・四〇	七・八〇
四・八〇	九・〇〇	六・六〇	六・四〇	七・一〇	六・三〇	六・七〇	八・四〇	八・六〇	七・八〇
四・八〇	九・〇〇	六・七〇	六・五〇	七・一〇	六・三〇	六・七〇	八・六〇	八・八〇	七・八〇
四・八〇	九・〇〇	六・七〇	六・五〇	七・一〇	六・三〇	六・七〇	八・八〇	九・〇〇	七・八〇
五・〇〇	九・二〇	六・七〇	六・五〇	七・二〇	六・六〇	六・七〇	九・一〇	九・三〇	八・二〇
五・〇〇	九・二〇	六・八〇	六・六〇	七・二〇	六・九〇	六・九〇	九・三〇	九・五〇	八・四〇

524
630

